

平成29年度（設立初年度）
事業計画及び収支予算書

平成29年4月3日から

平成30年3月31日まで

一般財団法人
長岡花火財団

一 目 次

1. 平成29年度事業計画	1
2. 平成29年度収支予算書	7

平成29年度 事業計画

一般財団法人長岡花火財団

平成29年度 事業計画

I 基本方針

当財団は、長岡花火の価値を「守り・伝え・高める」活動を展開し、市民の誇り・長岡花火を次世代に繋ぎ、市の魅力を高めるけん引役を担う組織として設立されました。設立初年度である本年度は、設立趣旨に沿って、大規模化した花火大会のリスク管理体制の強化や、年間を通じた長岡花火のプロモーションを積極的に推進していきます。

また、法人としての組織基盤を確立するため、法人の活動内容について積極的に広報活動を行うとともに、スポンサーシップ制度や長岡ファンクラブ制度など自主財源の調達制度の構築のほか、不測の事態に対応できる「災害等対策基金」を設置します。

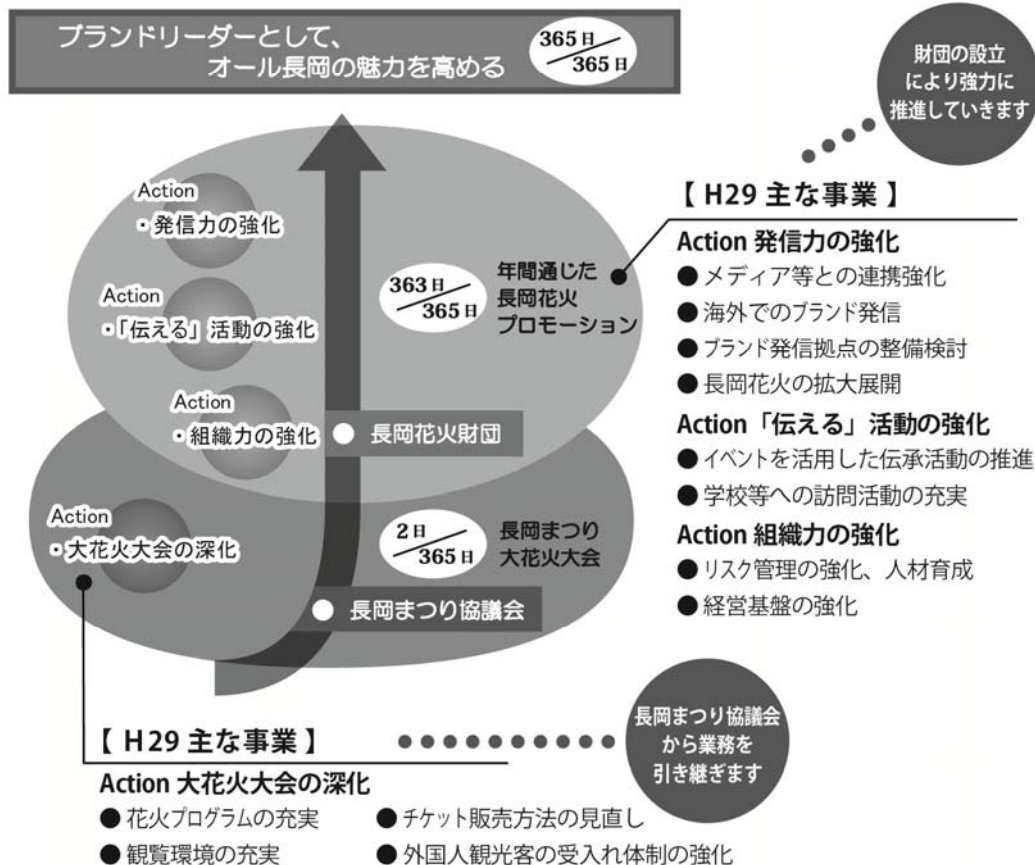
「長岡花火ブランド戦略プラン」(平成28年2月策定)を財団の行動計画に位置づけ、4つの戦略を柱に各種事業を着実に推進していきます。

戦略1 長岡まつり大花火大会のさらなる深化

戦略2 長岡の誇りを伝える活動の強化

戦略3 発信力の強化

戦略4 組織力の強化



Ⅱ 平成 29 年度の重点的な取り組み

(1) 長岡まつり大花火大会の企画・運営

長岡まつり大花火大会の企画・運営に関する業務を長岡まつり協議会から引き継ぎ、安全安心な大会運営を官民一体となって取り組みます。また、設立予定の長岡煙火協会と連携し、花火プログラムの充実を図るとともに、外国人観光客の受入れ体制の強化など、来場者へのおもてなしの向上を図り、長岡花火ブランドを磨き上げていきます。

(2) 長岡の誇りを伝える活動

市民、そして未来を担う子どもたちが、長岡花火への理解や共感を深め、長岡に誇りや愛着を持ってもらえる機会や拠点を創出します。また、これまで市民団体や市が実施してきた市内の学生などへの長岡花火の伝承活動に対する支援を強化するとともに、長岡花火に関わるボランティアの育成にも取り組みます。

(3) 長岡花火ブランドの全国・世界発信

年間を通じて長岡花火ブランドの価値を高め、広めていくためのプロモーション活動を実施します。長岡花火の魅力を国内外に効果的に発信するとともに、長岡まつり大花火大会が開催される2日間だけでなく、一年を通じて「花火のまち長岡」を感じ、訪れてもらえる様々な施策にも取り組みます。

(4) 組織力の強化

組織力の強化なくして財団の成長はありません。財団設立初年度である平成29年度は、組織力の強化が急務であり、「リスク対応」、「経営基盤」、「人材育成」の3つの力の向上に積極的に取り組みます。



Ⅲ 事業計画

1 長岡まつり大花火大会の企画・運営

(1) 花火プログラムの充実

- ① 花火大会復活70年と財団の設立を記念する花火の打ち上げ
- ② 長岡ゆかりの曲で打ち上がるミュージックスターマインのさらなる深化

(2) 観覧環境の充実

- ① テーブル席の配置見直し
 - ・右岸（長岡駅側）のフェニックス観覧席内にテーブル席を配置
 - ・左岸（長岡IC側）は陸上競技場内から打上げ現場に近い堤防内に移設
- ② 仮設トイレの増設と手洗い用消毒液の設置

(3) より確実に、安心して購入できるチケット販売方法への見直し

- ① より多くの人々が、より確実にチケットを入手できる販売方法
 - ・1次販売（抽選方式）の開始を2週間後送り
 - ・2次販売（インターネット販売・先着方式）におけるカード決済の導入
 - ・コンビニ販売の充実（販売席種の拡大）
- ② 選択可能エリアの拡大
 - ・左岸マス席の「堤防上エリア」と「堤防内エリア」の選択を可能に

(4) 外国人観光客の受入れ体制の強化

- ① 案内ボランティアの配置
- ② 指差し会話シートを活用した案内誘導
- ③ 外国語版長岡花火オフィシャルガイドブック（紙媒体）の作製

2 長岡の誇りを伝える活動

(1) イベントを活用した伝承活動の推進

- フェニックス音楽祭の開催（10月開催予定）
 - ・フェニックスプロジェクトと連携し、長岡花火をテーマとした音楽祭を開催
 - ・長岡花火の楽曲提供者の出演による市民を対象とした音楽祭

(2) 学校等への訪問活動の充実

- ① 統一コンテンツの活用
 - ・長岡まつり協議会が、NPO法人ネットワーク・フェニックスや（一社）長岡青年会議所と共同制作した長岡花火アニメーションを学校等への訪問活動に活用
- ② ボランティア活動を通じた人材育成の強化
 - ・専門部会を設置し、長岡花火の普及・啓発に係るボランティアの育成を推進

(3) 長岡花火ブランド発信拠点の整備

- ① アオーレ長岡シアターの活用強化
 - ・シアターの映像コンテンツの制作
 - ・ブランド発信拠点としての機能強化に向けた検討
- ② 「花火の駅（仮称）」の整備検討
 - ・2020 東京オリンピック前の開設を目指し、本プロジェクトの推進を支援

3 長岡花火ブランドの全国・世界発信

(1) メディア等との連携による発信強化

- ① メディアを通じたPR
 - ・大花火大会の全国生中継を軸に、ラジオ、雑誌等を活用したメディアミックスによる通年展開
 - ・新たな情報発信ツールとしてスマートフォン専用長岡花火公式アプリを配信
- ② 著名人を通じたPR
 - ・長岡花火にゆかりのある著名人を活用したPR（フェニックス音楽祭への参加など）
- ③ 企業とタイアップしたPR
 - ・長岡花火タイアップ商品の拡大

(2) 海外でのブランド発信の推進

- 姉妹都市ホノルル市での長岡花火打上げ
 - ・ホノルルフェスティバル財団、国際交流協会と連携し、ホノルルフェスティバルで長岡花火の打ち上げ

(3) 長岡花火ブランド発信拠点の整備（再掲）

- ① アオーレ長岡シアターの活用強化
 - ・シアターの映像コンテンツの制作
 - ・ブランド発信拠点としての機能強化に向けた検討
- ② 「花火の駅（仮称）」の整備検討
 - ・2020 東京オリンピック前の開設を目指し、本プロジェクトの推進を支援

(4) 長岡花火の拡大展開

- ① 「花火のまち長岡・信濃川夕遊縁日（仮称）」の開催
 - ・花火大会終了後の観覧席の一部（右岸マス席）を活用し、（一社）長岡青年会議所と共同で開催
 - ・屋台の出店や縁日イベントの実施のほか、エンディングに長岡花火を打ち上げて「花火のまち長岡」を演出

- ② 他の花火大会と長岡花火の一体となったプロモーション
 - ・寺泊港まつり海上花火大会（8月7日）
 - ・おぐに大花火大会（8月20日）
 - ・長岡雪しか祭り雪花火（2月17日）
- ③ 新たな花火大会の開催に向けた検討
 - ・開府400年（平成30年度）での実現に向け、新たな花火大会の開催を検討

4 組織力の強化

(1) リスクマネジメントの強化

- ① 事故リスクへの対応
 - ・大会規模に即した損害保険保障額の引き上げ
（賠償責任保険限度額：1事故5億円から10億円に引き上げ）
 - ・財団役員の法律上の賠償責任に対応する「役員賠償責任保険団体制度」への加入（補償限度額1億円）
- ② 災害リスクへの対応
 - ・災害対応や不測の事態に備え、毎年度の剰余金の一部を積み立てる「災害等対策基金」を設置
 - ・水害等による大会延期を想定した会場や業者等の事前確保

(2) 経営基盤の強化

- ① 自主財源の調達制度の構築
 - ・スポンサーシップ制度や長岡ファンクラブ制度 等
- ② 「災害等対策基金」の設置（再掲）
 - ・災害への対応等の不測の事態に備え、毎年度の剰余金の一部を積み立てる基金を設置

(3) 人材の育成

- ① プロパー職員の採用に向けた諸規程の整備
 - ・就業規程（採用、服務、勤務条件等）や給与規程（給与、手当）等の整備
- ② 研修会の開催
 - ・財団の役職員を対象としたガバナンス強化に関する研修

平成29年度 収支予算書

一般財団法人長岡花火財団

収支予算書

平成29年4月3日から平成30年3月31日まで

一般財団法人長岡花火財団

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	1,000	0	1,000
基本財産利息収入	1,000	0	1,000
特定資産運用収入	3,000	0	3,000
特定資産利息収入	3,000	0	3,000
事業収入	471,100,000	0	471,100,000
観覧席販売収入	450,000,000	0	450,000,000
駐車場協力金収入	12,500,000	0	12,500,000
各種販売収入	6,600,000	0	6,600,000
各種賦課金収入	2,000,000	0	2,000,000
補助金等収入	68,784,000	0	68,784,000
長岡市派遣職員人件費補助金収入	68,784,000	0	68,784,000
寄付金収入	4,180,000	0	4,180,000
長岡まつり協議会寄付金収入	4,000,000	0	4,000,000
寄付金収入	180,000	0	180,000
協賛金収入	207,120,000	0	207,120,000
現金協賛金収入	43,800,000	0	43,800,000
広告協賛金収入	300,000	0	300,000
花火協賛金収入	152,000,000	0	152,000,000
フェニックス花火協賛金収入	11,000,000	0	11,000,000
その他協賛金収入	20,000	0	20,000
雑収入	12,000	0	12,000
受取利息収入	2,000	0	2,000
雑収入	10,000	0	10,000
事業活動収入 計	751,200,000	0	751,200,000
2. 事業活動支出			
大会運営事業費支出	569,500,000	0	569,500,000
花火打上事業費支出	184,000,000	0	184,000,000
会場設営事業費支出	223,500,000	0	223,500,000
安全対策事業費支出	67,000,000	0	67,000,000
交通対策事業費支出	33,000,000	0	33,000,000
観覧席販売事業費支出	49,500,000	0	49,500,000
寄付懇請事業費支出	7,500,000	0	7,500,000
受入体制強化事業費支出	5,000,000	0	5,000,000
普及啓発事業費支出	20,500,000	0	20,500,000
普及啓発イベント事業費支出	14,500,000	0	14,500,000
伝承活動事業費支出	6,000,000	0	6,000,000
ブランド発信事業費支出	63,900,000	0	63,900,000
情報発信事業費支出	34,100,000	0	34,100,000
海外発信事業費支出	9,500,000	0	9,500,000
情報発信拠点事業費支出	6,500,000	0	6,500,000
長岡花火打上プロモーション事業費支出	13,800,000	0	13,800,000
その他プロモーション事業費支出	8,500,000	0	8,500,000
その他プロモーション事業費支出	8,500,000	0	8,500,000
管理費支出	88,800,000	0	88,800,000
人件費支出	73,410,000	0	73,410,000
施設費支出	8,400,000	0	8,400,000
その他管理費	6,990,000	0	6,990,000
事業活動支出 計	751,200,000	0	751,200,000
事業活動収支差額	0	0	0

II	投資活動収支の部			
	1. 投資活動収入			
	寄付金収入	35,000,000	0	35,000,000
	長岡市出捐金収入	10,000,000	0	10,000,000
	長岡まつり協議会寄付金収入	25,000,000	0	25,000,000
	投資活動収入 計	35,000,000	0	35,000,000
	2. 投資活動支出			
	基本財産取得支出	10,000,000	0	10,000,000
	基本財産取得支出	10,000,000	0	10,000,000
	特定資産取得支出	25,000,000	0	25,000,000
	災害等対策基金特定資産取得支出	25,000,000	0	25,000,000
	投資活動支出 計	35,000,000	0	35,000,000
	投資活動収支差額	0	0	0
III	財務活動収支の部			
	1. 財務活動収入			
	財務活動収入 計	0	0	0
	2. 財務活動支出			
	財務活動支出 計	0	0	0
	財務活動収支差額	0	0	0
	当期収支差額	0	0	0
	前期繰越収支差額	0	0	0
	次期繰越収支差額	0	0	0